

建設経済委員会 会議記録

- 1 期 日 令和 2 年 11 月 16 日 (月)
午前 9 時 25 分 開会
午前 11 時 58 分 閉会
- 2 場 所 第 3 委員会室
- 3 出席委員 委員長 福田 嗣久
副委員長 清水 寛
委員 足田 仁司、石津 一美、
岡本 昭治、木谷 敏勝、
椿野 仁司、村岡 峰男
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 (別紙のとおり)
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼総務係長 小林 昌弘
- 8 会議に付した事件 (別紙のとおり)

建設経済委員長 福田 嗣 久

建設経済委員会 次第

日時：2020年11月16日(月) 9:30～

場所：第3委員会室

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

正副委員長 → 委員 → 当局 → 事務局

4 協議事項

(1) 委員会所管事項の事務概要について <別紙「事務概要」>

【環 境 経 済 部】 環境経済課、大交流課

【コウノトリ共生部】 農林水産課、コウノトリ共生課、地籍調査課

【都 市 整 備 部】 建設課、都市整備課、建築住宅課

【各 振 興 局】 城崎、竹野、日高、出石、但東各地域振興課、
城崎温泉課

【上 下 水 道 部】 水道課、下水道課

【農 業 委 員 会】 農業委員会事務局

(2) 委員会の運営方針について

委員会重点調査事項 <別紙1>

(3) 各種委員の選出について <別紙2>

(4) 委員会の席次について <別紙3>

5 その他

6 閉 会

建設経済委員会名簿(11/16)

【委 員】

職 名	氏 名
委 員 長	福 田 嗣 久
副委員長	清 水 寛
委 員	足 田 仁 司
委 員	石 津 一 美
委 員	岡 本 昭 治
委 員	木 谷 敏 勝
委 員	椿 野 仁 司
委 員	村 岡 峰 男

8名

【当 局】

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
環境経済部長	坂本 成彦	環境経済課長	午菴 晴喜		
環境経済部参事	小林 辰美	大交流課長	谷口 雄彦	大交流課参事	藤原 孝行
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男	コウノトリ共生課長	宮下 泰尚
		農林水産課参事	井垣 敬司	地籍調査課長	西谷 英
都市整備部長	澤田 秀夫	建設課長	富森 靖彦	建築住宅課長	山本 正明
都市整備部参事	河本 行正	都市整備課長	石田 敦史	都市整備課参事	北村 省二
城崎振興局長	熊毛 好弘	地域振興課参事	橋本 郁夫	城崎温泉課長	植田 教夫
竹野振興局長	瀧下 貴也	地域振興課長	榎本 啓一		
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課参事	吉田 政明		
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課参事	川崎 隆		
但東振興局長	羽尻 泰広	地域振興課参事	小川 一昭		
上下水道部長	米田 眞一	水道課長	谷垣 康広	水道課参事	和田 哲也
		下水道課長	石津 隆	下水道課参事	堀田 政司
農業委員会事務局		農業委員会事務局長	丸谷 祐二		

33名

【議会事務局】

職 名	氏 名
主幹兼総務係長	小林 昌弘

1名

計 42名

午前9時25分開会

○委員長（福田 嗣久） おはようございます。

それでは、建設経済委員会を開会いたしたいと思
います。

このたびの役選で委員長を仰せつかりました福
田と申します。どうぞよろしくお願いします。

大変この委員会は重要な委員会だというふうに
認識しております。ここにいらっしゃる環境経済、
コウノトリ共生、都市整備、それぞれ豊岡の経済あ
るいは農業、林業、水産業それから経済全般を引っ
張る委員会でございますし、また都市整備につきま
してはやっぱり市民要望が非常に大きい部分であ
りますので、ぜひ皆さんで協力しながら予算をしっ
かり確保していただいて、そしてまた市民の安全に
つながるべき形を推進していただきたい、このよう
に考えております。

特に経済部門、コウノトリ共生も含めてですが
も、大変不透明な時代になってきておりますし、も
う一つは菅総理の話を聞いておりますと、地銀の統
廃合の話も出ておりますし、中小零細企業の合併と
か、あるいはM&Aとか、こういったことに力を入
れるというふうなことで、考えてみましたら縮小進
行の形を取っていくのではなかろうかななんてい
うことも少し考えておったりします。

いずれにしても豊岡市大変広い地域でございま
すので、ぜひ皆さんの力、総力で豊岡の経済あるい
は全般がよくなるように頑張っていたきたいと思
いますし、委員のほうもそのつもりで頑張ってい
きたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の委員会に当たり、環境経済部小
林部参事、それから日高振興局地域振興課の吉田参
事及び但東振興局の羽尻局長から欠席について申
出がありこれを許可しておりますので、ご了承いた
だきます。

本日の委員会ですが、新型コロナウイルス感染症
対策の関係で委員会室の密集をできるだけ軽減す
るため、当局職員の出席を前半と後半と2グループ
に分けておりますのでご了承いただきます。

それでは、お手元の次第に沿って進めたいと思
います。

協議に入りますまでに、今回は役員改選後初めて
の委員会でございますので、出席者の皆さんから自
己紹介をいただきたいと思います。

私は、今申し上げましたので副委員長さんからお
願いいたします。

○委員（清水 寛） おはようございます。副委員
長をこの度拝命しました清水と申します。皆さん見
てのとおり重厚なメンバーで大変緊張するところ
ですけども、コロナ禍ということではなかなか環境、
経済が非常に難しい状況になってると思えます。そ
の中で、市民のためにしっかりと委員長をサポート
しながら力を合わせて頑張っていきたいと思いま
すので、どうぞよろしくお願いします。

○委員長（福田 嗣久） それでは、そちらからいき
ましょうか。

○委員（石津 一美） 石津一美です。今回また2回
目になりますので、よろしくお願いいたします。

○委員（村岡 峰男） 居残り組の二人のうちの一人
です。村岡です。よろしくお願いします。

○委員（岡本 昭治） 岡本昭治です。よろしくお願
いいたします。

○委員（椿野 仁司） 居残り組のその2でございま
す。豊岡市議会も4年目のある意味ではラストイヤー
で、先ほど福田委員長からもいろいろとご挨拶あ
りましたように大変な時期、大変な委員会というか、
重要だというふうに思っていますけれども、委員会
としてもラストイヤーですので集大成をしっかり
としていきたいというふうに思っています。ひとつ
お手柔らかにとは言いませんけれども、よろしくお
願いいたしたいと思えます。

○委員（足田 仁司） おはようございます。4年目
に初めてこの委員会に参加をさせていただくこと
になりました。見ますと豊岡市の主立った事業を担
っておる重要な部署の皆さんです。分からないこと
がたくさんあると思えますけども、よろしくお願いいたします。

○委員（木谷 敏勝） 木谷敏勝です。よろしくお願

いします。

○委員長（福田 嗣久） それでは当局のほうから、環境経済部から名簿順でお願いしたいと思います。

○環境経済部長（坂本 成彦） おはようございます。環境経済部、坂本です。こちらこそお手柔らかによろしくお願いします。

○委員長（福田 嗣久） そちらからいこうか、環境経済部のほうから。名簿順。

○環境経済課長（午菴 晴喜） おはようございます。失礼いたします。環境経済課の午菴と申します。くしくもコロナと一緒に4月から日々勉強中でぎりぎりですけども、どうかよろしくお願いいたします。

○大交流課長（谷口 雄彦） おはようございます。大交流課の谷口でございます。引き続きよろしくお願いいたします。

○大交流課参事（藤原 孝行） おはようございます。大交流課、藤原です。城崎国際アートセンターのほうを担当しております。よろしくお願いいたします。

○コウノトリ共生部長（川端 啓介） おはようございます。コウノトリ共生部の川端でございます。引き続きよろしくお願いいたします。

○農林水産課長（柳沢 和男） おはようございます。農林水産課の柳沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私も4月から来まして、まだ1年たっておりませんが、頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

○農林水産課参事（井垣 敬司） 失礼します。農林水産課の井垣と申します。どうかよろしくお願いいたします。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） おはようございます。コウノトリ共生課長の宮下です。どうぞよろしくお願いいたします。

○地籍調査課長（西谷 英） おはようございます。地籍調査課の西谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

○都市整備部長（澤田 秀夫） おはようございます。都市整備部の澤田です。都市整備課と建築住宅課のほうを担当しておりますので、よろしくお願いいたします。

します。

○都市整備部参事（河本 行正） おはようございます。都市整備部参事の河本でございます。私のほうは建設課のほうを担当しております。またよろしくお願ひいたします。

○建設課長（富森 靖彦） おはようございます。建設課の富森です。よろしくお願いいたします。

○都市整備課長（石田 敦史） おはようございます。都市整備課長の石田でございます。この4月からお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

○建築住宅課長（山本 正明） おはようございます。建築住宅課の山本です。よろしくお願いいたします。

○都市整備課参事（北村 省二） おはようございます。都市整備課参事の北村です。よろしくお願いいたします。

○事務局主幹（小林 昌弘） 事務局の小林です。よろしくお願いいたします。

○委員長（福田 嗣久） それでは自己紹介は終わらせていただいて、次は協議事項に入らせていただきます。

まず、委員会所管事務事項、事務概要についてお願ひをしたいと思います。

まず環境経済部、それからコウノトリ共生部、それから都市整備部から一括して説明をしていただき、その後質疑を行い、後半戦はまた後半戦でやりたいと思います。

本日はあくまでも事務概要の説明であり、また時間が限られておりますので、当局説明や委員からの質問は要点を押さえて簡潔明瞭にお願いいたします。

事務概要につきましては、例年どおり進捗状況を主に説明をいただきます。

また、委員会での発言は委員長の指名の後、マイクを使用して発言者名を名のってから行なっていただきますようにご協力をお願いいたします。

それでは、まず環境経済部からお願ひします。

どうぞ。

○環境経済課長（午菴 晴喜） それでは、事務概要

の5ページをご覧ください。環境経済課からは、4項目ご説明をさせていただきます。

まず最初に、経済施策の推進でございます。市内中小企業の経営の安定化と強化に加え、今年度は特に新型コロナウイルス感染症の影響から企業を守り雇用を維持する取組を優先しながら、地域経済の活性化を目指し各事業を進めております。

概要及び進捗状況です。

1番としましては内発型産業育成の推進ということで、市内産業育成に関する支援等、検討、実施をしてきております。企業の安定、挑戦それから個人の起業が増えるような取組を進めてきております。

(2)番といたしましてはその流れとなりますけれども、成長を目指す企業や起業に取り組む若者や女性に対する相談業務の実施ということで、昨年度開設をしております「IPPO TOYOOKA」につきまして、今年度もさらに活動を増やしていくような取組を進めております。この「IPPO TOYOOKA」は無料の相談ということで月4日から5日程度の開催をしてありますが、今年度につきましてこの10月までの利用率については95.2%となっておりますが、前日のキャンセルがございまして95.2となりましたので、キャンセルがない場合は100%のご利用というようなこととなります。34名については男性18名、女性16名というようなことで、継続の相談の方もございます。

(3)番はステップアップ支援補助金と創業支援の補助金です。それぞれ起業または企業様のほうの販路拡大や新商品開発などへの補助金として支援をするものでございます。ステップアップについては、上限150万円で補助をさせていただくもの。創業につきましては、特に若者、45歳以下というふうなことにしておりますが、また、女性というふうなことで支援させていただくということで、上限100万円のものをそれぞれ設け支援をしております。

次に、(4)番でございます。地域経済循環創造型交付金など、国県支援制度の紹介及び活用支援と

いうことでございます。冒頭申し上げましたとおり、今年度はコロナ禍もありまして国の持続化給付金や雇用調整助成金、さらに県の休業要請事業者経営継続支援金など、それらの対策についての周知ですとか申請支援を行ってきております。総務省の交付金を活用いたしました地域経済循環創造事業交付金につきましては、申請件数が今のところないというような状況になっております。

(5)です。市内経済状況の把握及び分析でございます。それぞれ関係団体様と定期的に会議を持たせていただく中で、市内経済状況等の把握。把握した内容を施策に展開できるものがないかというようなことで進めてきております。本年度につきましては4月、8月の2回開催し、11月にも3回目の予定をしております。年内には全部で4回程度の会議を予定をしております。

昨年度作成をいたしました2017年豊岡市産業連関表により市全体の経済サイズ等、一定の分析を行ったということでございます。産業連関表につきましては、域内や域際における、国で言ったら輸出と輸入のそういったものを産業ごとに一覧できる統計表というようなことになろうかと思いますけれども、感覚や経験で捉えがちな経済の実体を数字として明らかにするというようなことで、県や国は5年ごとに作っておりますが、自治体としてはまだまだそういった5年ごとに作っているところは少ないというふうに聞いていますが、豊岡におきましては2017年版を作成をしたということでございます。

この概要につきましては市長の定例記者会見等でも公表させていただいておりますが、ざっと見ますともう総需要については5年前よりも少し規模が少なくなっている傾向にあり8,289億円が7,691億円というようなことですか、あと地域内の収支、これにつきましては前回の認識ほど悪くはないのかなというようなことですか、外貨を稼ぐ力のある産業についてもより細かく、以前は飲食、宿泊部門はもうける力が強いというふうな認識でありましたけど、それを分解することで宿泊のほう

がやっぱり強くて飲食はなかなか厳しい状況にあるというようなことも少し分かったところでございます。

続きまして6ページです。2の新型コロナウイルス感染症に係る企業支援ということで、新たにコロナ用の融資対策を設け実行しているところです。融資制度のほうで23件、それから利子補給のほうは21件でございます。利子補給については、3年間合計ということで576万6,000円となっております。2020年度で置き換えますと、193万5,000円程度が今のところ補給の金額になっております。

(2) 番のステップアップは先ほど申し上げました補助ですが、コロナ禍において増額をさせていただいて実行しているところでございます。

(3) 番、経営相談、労務相談等につきましても、雇用調整助成金の関係の事務手続きが煩雑であるというようなこともございましたので、それぞれ商工団体様、社労士様等と連携をし、その事務支援を行ってきているところでございます。

3番です。環境経済事業の推進につきましては、利益を生み出す事業により環境を改善するものというふうな事業につきまして認定をし、増やしております。2事業、具体的には前年度の審査で今年度書類が整ったという形にはなりますけれども、2事業追加で認定をさせていただいております。この事業につきまして、市役所1階のモニターのところで映像として情報発信もさせていただいております。

次です。商工振興の推進です。7ページですね。にぎわいと活力を生み出す商業空間の形成のため、商店街等の活動の支援を進めてきております。

概要及び進捗状況です。

商店街活性化事業への支援ということで、それぞれの商店街に取り組みされるものに対し補助等支援をしてきております。

2番目です。中心市街地の誘客促進ということで、宵田商店街となりますが、旧とゞ兵の改修につきまして県の事業等を活用しながらその支援をし、新た

な交流拠点の整備となるように進めてきております。

3番目でございます。かばん産業の人材育成支援、地域ブランドの確立ということで、特に新たな取組といたしまして豊岡のかばんの製造の技術を生かし、財布の生産能力育成事業ということで進めております。豊岡財布スクール、5月1日から7月31日について受講者5名ということで、これがいわゆる前期で、後期、9月からの予定をしておりましたが、少しコロナ禍で生徒様の集まりがないということで、後期については今見送りになるようなことになっております。

5番目のふるさと納税の推進につきましては、昨年度から新たに「ふるなび」を4月17日から導入し、さらなる増額に努めております。10月末の状況はご覧のとおりになります。

続きまして、8ページです。企業支援の推進につきましてです。市内外企業の情報収集や情報発信、それと新たな企業適地の整備を進めてきております。

概要及び進捗状況です。

企業立地です。先ほど申し上げましたように、それぞれの企業様に訪問したり相談があったような内容も含めて情報を収集、発信をしております。

(2) 番につきましては、地方創生の観点からも若い女性が働きたいと思う職場を増やすためということもありまして、IT企業の誘致促進に努めており、今後もこれらについて努めていきたいというふうに考えております。

めくっていただきまして、(3) 番、既存立地企業の動向確認、支援。これらにつきましても、随時確認作業を進めております。

(4) 番、県道但馬空港線沿線の産業用地整備の推進ということで、記載のような工事を随時進めさせていただいております。2023年度の販売開始を目指し、3区画、1.5ヘクタールの工業適地を造成ということで進めてきております。

2番、ものづくり支援でございます。ものづくり支援センターによる技術相談、セミナー開催等、ま

たは（２）番の兵庫ものづくりセンター但馬、これは但馬技術大学校になりますけども、それらと連携をしながら企業訪問等によって技術的な課題やニーズを把握し、それらが改善できるような取組を進めてきております。

（４）番です。市内のものづくり企業等データベースにつきましても専用のテクナビ豊岡というものを設けておりますので、それらで情報発信をし、支援につなげていくように努めて回っております。

続きまして、１０ページです。移住定住の推進です。人口減少が進む中、何とかしてこの減少を緩和するためということで、仕事、住まい、暮らしなど幅広い情報発信をしたり総合的な相談に取り組みながら、さらに若者のＵ・Ｉターン就職を促進したり地域おこし協力隊など様々な人材との活動に努めながら、地域の元気を高めていくための取組を進めております。

概要及び進捗状況です。

移住定住の情報発信ということで、市民ライターによる暮らしの記事等、「飛んでるローカル豊岡」のサイトを活用し発信をしております。また、ジョブナビ豊岡のほうには９４社が登録し、情報を発信をしているところです。

大きな２番として、移住定住の相談・支援でございます。移住の相談件数等が増えてきております。下段のほうに書いておりますが、前年度対比２７６％ということで、１０月までですが３８３件、移住者につきましては５２人が移住ということで、前年よりもコロナ禍にあって少し増えつつある傾向があります。

次の移住フェアへの出展でございます。今年度につきましてはオンラインということで参加をし、計１７組の方がご相談いただきました。前年まではリアルでしておりますので、少しリアルに比べると急な対応でもあったので少ないですけれども、こういったことでの情報発信、相談等も随時続けてきております。

次のリフォーム支援等と移住希望者の来訪支援ということでそれぞれ補助制度を設けまして、移住

しやすいようにというようなことで段階的な支援等をしているところでございます。一部補助につきましては今年度の１０号補正等で増額をさせていただき、活用促進と増を目指しているところでございます。

それから、お試し住宅の関係もでございます。市営住宅の空き住宅部分を活用し、最長２年となりますけども事前に豊岡の生活を体験していただきたいというようなことで、それぞれ今入居状況になりますけども活用を進めております。

３番目の高校生の活動支援でございます。ふるさとへの愛着を醸成することを目的ということで、将来的なＵターンにつなげていきたいというようなことを目指し、各種取組を進めてきております。総合学習の支援ですとか音楽家との関わりを増やすミュージシャンインレジデンスというようなところの方面も含めて、そのような取組を進めてきているところでございます。

４番、ジョブサポ豊岡はこれは無料の職業紹介でございます。相談件数が１３１件あって、マッチング企業と相談者の人をマッチングさせているのが６件で、そのうち今就職まで進みつつあるのが３件ということでございます。

最後に地域おこし協力隊です。こちらにつきましてもコロナ禍にあって募集に対し応募が多いという中ではございますが、現在２５人の隊員が活動しております。この後、また１２月・１月採用等を含めまして、新年度につきましても有効に活用するように取組を進めてまいりたいというふうに考えております。

環境経済課からは以上です。

○委員長（福田 嗣久） それでは大交流、谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 資料の１２ページからになります。進捗状況の主なものについてご説明させていただきますと思っています。

まず、情報戦略の推進でございますけども、これは特に首都圏を中心に情報発信を戦略的に進めまして豊岡の認知度を上げるとともに、既存の豊岡ファンとのつながりを強めつつ新たな豊岡ファンの

獲得のための取組を進めてございます。

進捗状況の大きな1番ですけれども、豊岡ファンミーティングの開催としています。これまで東京で開催をしていました豊岡エキシビションを現地で開催するという考え方に変えまして予算を頂いておりましたけれども、今年度につきましては新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためということで開催を見送ってございます。

それから、2つ目のメディア招聘事業ですけれども、これは次の13ページにあります豊岡ツーリズム協議会の補助事業として毎年行っておりますけれども、現在の掲載メディア数は287。国内が特に減少しております32件、海外はウェブメディアを中心に255件の掲載をされているような状況でございます。

3番はガイドブック、SNSによる情報発信というところで、詳細につきましてはご覧のとおりでございます。

あとNOMOベースボールクラブの支援ということで活動し、全国に情報発信をしているところでございます。

次が13ページでございますけれども、国内誘客の推進ということで進捗状況ですが、1番のア、6観光協会に運営費及び事業費を支援してございます。今年はコロナ対策というところで、コロナ対策分の106万5,000円も含めまして現在のところ5,365万2,000円の補助金の交付決定をしているところでございます。

大きな2番、カーシェアリング事業ですけれども、公用車利用と来訪者の二次交通の利用のシェアリング体制を実現するというところで、市役所に2台のカーシェアリングを配置し、取組を進めているところでございます。

次が14ページでございます。3番、閑散期団体誘客拡大事業です。これは豊岡ツーリズムイノベーションへの委託事業でございまして、観光需要が低迷する閑散期、4月から7月と9月から11月の市内の宿泊者数の拡大を図るために、団体客を中心に誘客の促進を図ってまいりました。しかしながら、

今年度につきましては新型コロナウイルス感染症の影響があり相当苦戦をしております、閑散期と限定せずに実施をしておりますけれども、ご覧のとおり昨年に比べ、目標に比べて非常に厳しいような状況でございます。

4番が城崎温泉開湯1300年支援事業です。開湯1,300年を迎える城崎温泉の記念事業に対して、必要な経費を支援しております。例えば先日行われましたJRの臨時列車の運行でありますとか講演会などについて必要な額を補助し、交付決定額は200万円でございます。

それから、6番の玄武洞公園整備事業ですけれども、主立ったところでいきますと8月20日に玄武洞公園の今年度事業の目玉でございますけれども、実施設計業務の契約を締結いたしてございます。

次が15ページでございます。海外戦略の推進ということで、こういった状況でございますので積極的なプロモーションは控えておりまして、ベースとなる活動をしているような状況でございます。

2番の海外プロモーションの推進ということで、ターゲット市場における観光レップによる情報発信活動につきましては引き続き行っておりまして、先ほど説明させていただきました海外メディアの記事掲載に係る活動を行っていただいております。

それから、(2)の海外旅行博への参加というのは全て中止をしております。

(4)番のインバウンド地域連携事業ということで、せとうちDMOや海の京都DMOと連携しておりますけれども、こちらのほうも現地へ出向くことは中止をし、オンライン商談会を中心に実施をさせていただいているところでございます。

16ページをお開きください。3番の受入れ体制強化でございます。これは例年と同じでございますけれども、城崎ツーリストインフォメーションSOZOROを活用したインフォメーション機能の運営委託を全但バスに行っております。

(2)につきましては、外国人のCIR（国際交流員）を大交流課に配置をしております。

次に、17ページの専門職大学の設置でございますけれども、進捗状況、1番の(1)でございますが、10月の23日に大学の設置が認可をされました。大学の名称が、当初仮称として国際観光芸術専門職大学としておりましたけれども、正式にはここに記載にありますとおり芸術文化観光専門職大学としてございます。定員は従来の予定どおり80名、収容定員は4学年で320名になってございます。

18ページをお開きいただけますでしょうか。まず、(2)大学の学舎それから学生寮の建築工事の進捗でございますけれども、ほぼ順調に進んでおりまして、大学学舎につきましては2月の末、学生寮につきましては1月末竣工予定でございます。

(3)番の入学者選抜試験につきましては、設置認可が当初より遅れましたので、もともと10月に予定をしておりました推薦型選抜試験を12月にずらして実施をすることにしてございます。一般入試につきましては、予定どおり開催する予定でございます。

2番の兵庫県とのプレ事業の開催につきまして、(1)高校生プレカレッジ、これは模擬授業でございますけれども、東京会場それから神戸会場、但馬会場につきまして新型コロナウイルスの影響により中止をしているところでございます。その代わりにウェブによるオンライン講義を開催され、282名の受講がございました。

(2)、こちらは演劇祭に併せましてオープンキャンパスを実施し、市民プラザで開催をいたしましたけれども、それぞれ2日間、74名と82名、合わせて223名の申込みがあり参加者がございました。

(3)プレ事業でございますけど、公開講座、この今週末の11月21日に豊岡市民プラザにおきまして劇作家で女優であります渡辺えりさんを迎え、「演劇は生きる力」と題した講演会を実施しようとしてございます。

次、19ページでございます。専門職大学と地域との連携に向けた検討でございますけれども、専門職大学開学後の地域連携について、兵庫県や但馬3市

2町で検討を進めてございます。大学に(仮称)地域リサーチ&イノベーションセンターというものを設置される予定になっておりますので、このセンターと各自治体がどのように連携をし、事業を進めていくかの検討をしてございます。その検討結果につきまして、1月頃を目途に事業実施計画を策定する予定にしております。

次に20ページ、アーティスト等の移住定住の推進でございます。

進捗状況、主なものでございますけれども、コロナからの経済社会活動の再起動ということで「Re豊岡」プロジェクトを進めてまいりましたけれども、その一環としてTHEATER豊岡を実施いたしました。

(1)でございますけれども、劇団青年団による江原河畔劇場におきまして「銀河鉄道の夜」を公演していただき、主に子供たちを中心に525名の観劇がございました。

それから、市内のこども園、保育園、幼稚園への訪問公演ということで、「ちっちゃい姫とハカルン博士」という演目を訪問公演していただきまして、観劇者数が405人に上りました。

それから、2番ですけれども、青年団員の移住支援ということで、この4月から11月の実績で青年団員の移住者が5名、家族を含めて7名の移住が実現してございます。

21ページでございますけれども、豊岡演劇祭の開催支援ということで、進捗状況の2番ですけれども、もともとコロナの影響がありまして公演規模も縮小し、収容人員も半分に制限をして開催をさせていただきました。9月9日から22日の2週間でございます。会場につきましては、当初予定をしていた出石の永楽館につきましては換気設備の関係で除外ということになってございます。

22ページをお開きください。結果といたしまして、公式プログラムで9団体を招請し35公演、それからフリンジプログラムを募集したところ62団体からの応募があり、結果23団体を採用し83公演を実施したところでございます。

(6) 来場者数は延べで6, 547人というふうになってございます。

その他、協働事業といたしましてA Iを活用したオンデマンド交通の実証運行でありますとかNAVITIME Travelとの連携による「旅のしおり」の提供など、様々なまちづくりへの挑戦をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長(福田 嗣久) 大交流課の藤原参事。

○大交流課参事(藤原 孝行) お手元の資料23ページ、24ページになります。城崎国際アートセンターの関係です。

まず、大前提として新型コロナの影響で、アートセンターを4月の15日から5月の31日まで臨時休館をせざるを得なくなったという状況でございます。

その中で事業の開催というふうなことなんですが、まず1つ目がアーティスト・イン・レジデンスの関係は海外からの渡航制限がありまして、一番下に「うちキャンセル団体数」と書いていますが、4団体3か国の方が滞在を延期あるいは中止をせざるを得ない状況になりました。現在も様子を見ながら滞在を勧めているというふうな状況でございます。

それから、2つ目の文化芸術創造交流事業、いわゆる主催事業の関係ですが、こちらもコロナの影響を見ながら、本来でしたら200、300入るべき会場を2分の1あるいは間隔を22メートル以上開けてというふうな制限をかけまして、(1)については78人、それから(2)については24人、それから(3)については次のページですが115人というふうな非常にちょっと少ない人数では推移しておりますが、そういった対応を取っての結果ということでございます。

なお、開催に当たりましては、(1)番、森下さんについてはおんぷの祭典とコラボレーションを行った。それから、(2)については子育て総合センターと連携して共催のような格好を取った。(3)番については、これ竹野で行ったので竹野の相撲甚

句という相撲の甚句というのがあるんですが、その保存会の方との共同開催というふうな格好で、アートセンター単独ではなくっていろんな団体あるいは組織、皆さん地元の方と連携したというふうな取組を進めてまいりました。

それから、少し飛びますが5番です。貸し館事業です。こちらのほうもコロナの影響あるいは休館の関係もございまして、通常でしたらもっと数字が伸びているんですが、今年は僅かちょっと2件しか貸し館の申請自体はございませんでした。一番大きな城崎での例えば養老会でありますとか文化祭であるとか、そういったものがもう軒並み中止になってしまったというふうな状況でございます。

以上、アートセンターのほうを終わりにして、大交流のほうは以上でございます。

○委員長(福田 嗣久) それじゃ農林水産課の柳沢課長。

○農林水産課長(柳沢 和男) それでは、農林水産課の事務概要につきましては25ページから34ページまで7つあります。

25ページの有害鳥獣対策事業の推進から29ページのコウノトリ育むお米のブランド化までを私、柳沢が、30ページの農業用施設管理及び基盤整備促進事業から34ページの水産業の振興までを井垣参事が説明します。

では、25ページをご覧ください。有害鳥獣対策推進事業についてです。

基本方針にありますように、本年度も従来から行っております獣害防護柵や捕獲柵等の設置による防除対策を行うとともに、捕獲対策として第3期の鹿有害被害撲滅作戦、2020年から2022年度、3年間でございますけれども、年間捕獲6,500頭を目標に事業を進めております。本年度は流し撃ち部隊を新設し、標高の高い山中においても鹿の捕獲を進めておるところでございます。

事業の進捗につきましては、26ページに記載をしております。

防除対策では、鳥獣被害防止総合対策事業を8地区で実施をさせていただいております。市単独の防

護柵の設置は4農会、捕獲柵の設置は7農会で実施をしているところでございます。高齢者等農作業生きがい対策事業は25人、ニホンザル被害対策事業は12人に対して支援を行っております。

駆除対策では、狩猟免許取得促進の支援を3人に行いました。また、豊岡市有害鳥獣駆除班に駆除業務を委託をして、9月末現在での捕獲実績は鹿が3,110頭、カワウが302羽となっております。

続きまして、27ページをご覧ください。新規就農者の確保・育成事業の推進（農業スクール開校事業、若手農家支援、豊岡農業体験等）及び農業ビジョン実現に向けた取組についてでございます。

基本方針では、新規就農者を増やすため特に若者や市外からの移住者を対象に就農を進めることとしており、技術を学ぶ農業スクールの実施、そして農業を始める際の初期投資費用等の支援を行うこととしております。

事業の進捗状況につきましては、27ページに掲載しております。

豊岡農業スクールにつきましては、研修生5名が受入れ農家で研修を実施をしているところでございます。集合研修等も、座学というふうなことでこれまで6回実施をしている状況でございます。

農業振興費の新規就農総合支援事業費のところでございますけれども、農業次世代人材投資資金として認定新規就農者16名に対して交付をさせていただいております。また、若手農家支援事業として、農業用機械等整備費助成金を認定新規就農者4人に対して交付しております。就農イベントにつきましては、新型コロナウイルスの感染症の拡大等によりまして、オンラインで実施された就農座談会に参加をさせていただきました。

農業ビジョンの推進につきましては、現在推進委員の選任について検討しているところでございます。

続きまして、29ページをご覧ください。コウノトリ育むお米のブランド化（国内外の販売促進）についてでございます。

基本方針にありますとおり豊岡市農業振興戦略

を機軸とし、本市が推進する環境経済戦略の農業モデルとしてこのお米のブランド化を推進し、持続可能な強い豊岡農業を確立するよう進めているところでございます。

事業の推進につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響によりまして現地に出向いての事業、特に海外でございますけれども、そういったところの事業ができておりません。当初予定していた動きができてないというのが現状でございます。全体的には、ウェブを活用した情報発信などにより代替の対応をしているというところでございます。

国内につきましては、夏以降可能な範囲で販路拡大に向けた営業を一部で行ってきております。また、海外は関係性の継続のためにウェブミーティングによる情報発信を行いながら、渡航が可能になった際には素早く動けるよう情報収集と対応の検討を常に行っているところでございます。

今年度のコウノトリ育むお米の輸出の状況は、9月末時点で10.26トンという状況でございます。

私からは以上でございます。

○委員長（福田 嗣久） 井垣参事。

○農林水産課参事（井垣 敬司） 引き続きまして、30ページ、31ページをお開きください。農業用施設管理及び基盤整備促進事業についてです。

本年度につきましても、引き続き市が直接管理しています広域基幹農道の維持管理、また土地改良区など農業者の皆さんの要望にお応えするために事業を進めています。

概要及び進捗状況ですが、事業主体が兵庫県の案件からです。

1、下鶴井地区圃場整備事業です。本年度工事の契約を11月中旬予定としておりますが、これが下旬になりますことともに工事の完成が来年にずれ込むようにお聞きしているところでございます。

次に、2、北但地区農道橋耐震化及び長寿命化事業です。一番下の進捗状況をご覧ください。耐震化事業の橋脚補強の中に蓼川大橋2脚とございますが、こちらは本年の3月に季節外れの大雨により仮

設工の大型土のうが流されてしまったため、昨年度から引き続いての施工となっております。こちらの影響もございまして、上段に記しております事業内容の部分と若干相違が生じているところです。

続いて3、蓼川堰補修事業と4、蓼川地区用水路改修事業につきましてはご覧のとおりです。

あと、以降の5番からの3事業につきましては事業主体が市になります。いずれもご覧のとおりですが、6、ふるさと農道のり面安全対策事業の一番下、進捗状況に11月中旬契約予定とあります。こちらについては9月補正予算で工事費をご承認いただいた案件でございまして、11月12日に無事、工事請負契約を締結できましたので、併せてご報告させていただきます。

続きまして、32ページをお開きください。多面的機能支払交付金事業です。

基本方針に地域共同による農地及び農業用施設の保全管理活動として、共同活動支援を行う。また長寿命化活動支援を行い、老朽化が進む農業用排水路などの長寿命化のための補修、更新を促進するとしているところです。

概要及び進捗事業をご覧ください。

1、共同活動への支援です。対象及び単価はご覧のとおりで、進捗状況は1億3,635万2,000円を117組織に交付いたしました。

2、施設の長寿命化への支援です。同じく対象及び単価はご覧のとおりで、進捗状況8,439万2,000円を86組織さんに交付をいたしました。今現在、各組織さんにて実績報告書の作成準備を行っていただいているところです。

続きまして、33ページをお開きください。林業の振興についてです。

現況と課題、基本方針に変更はございません。

概要及び進捗状況をご覧ください。

1、市行造林事業は保育事業36,24ヘクタールを5か所にて、作業道開設を3,032メートルを2か所で実施いたしました。

2、森林管理100%作戦推進事業は、個人などの森林所有者が事業主体となり間伐や作業道開設

を行うことに対する補助で、ご覧の事業量を実施中でございます。

3、針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業です。高齢人工林を対象に、林業事業者が事業主体となり災害に強い森づくりを目指して3か年サイクルで基本的に行います。ご覧の事業量に対して、現在兵庫県へ計画承認申請及び補助金交付申請を行っているところです。財源は県費100%で、県民緑税が充当されることになっております。

次に、4、森林整備事業です。森林環境譲与税を財源としています。豊岡市森林ビジョン検討委員会の運営につきましては現在立ち上げの準備中であり、今年度中に何とか委員会を開催したいというふうに考えております。

間伐未利用材供給設備等導入補助につきましては、各森林事業者さんが導入に向けて準備を行っていただいているところです。

続きまして、34ページをお開きください。水産業の振興についてです。

2017年、平成29年度に策定いたしました豊岡市水産業振興基本計画に明記しています以下にあります4つの重点方策アクションプランに基づいて事業を実施しています。

概要及び進捗状況をご覧ください。

津居山港水産基盤機能更新・強化計画検討業務につきましてはご覧のとおりですが、先ほどの森林環境整備事業の豊岡市林業ビジョン検討委員会と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして遅れているところです。今年度予定しています業務の一部を先送りいたしまして、2021年度に予定している業務と併せて実施し遅れを取り戻していきたいというふうに考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

農林水産課の主要な事業の概要は以上でございます。

○委員長（福田 嗣久） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） コウノトリ共生課からは、2件報告させていただきます。

まず、35ページの環境施策の総合調整について

説明いたします。

この事業は、豊岡市環境基本計画に掲げる目標達成に向けて地球温暖化防止対策など市の関連施策の推進及び進行管理を行っているところです。

概要及び進捗状況をご覧ください。

1、2に記載しております環境審議会につきましては、これまでに地球温暖化防止対策に向けての意見交換会を挟み2回開催しております。そして現在、環境報告書の発行に向けて取りまとめを行っているところです。

3の地球温暖化防止対策、再生可能エネルギーの推進につきましては、例年どおり竹貫、山宮、但馬空港、3か所のメガソーラーの維持管理を行っておりますのと、太陽光発電パネル等の設置補助を続けております。本年は蓄電池に対する補助件数が予想以上に伸びておりまして、10月13日をもって今年度の予算を使い切ったところです。現在、本年度の太陽光パネル及び蓄電池の補助申請の受付を中断しているところです。

次に、36、37ページのコウノトリ野生復帰の推進についてご説明いたします。

平成17年、豊岡で試験放鳥が行われて15年ほどたちますが、本年6月に野外のコウノトリが200羽を超えました。また、繁殖地の広がりにつきましても大きな進展があり、本年初めて栃木県小山市でしたが、東日本エリアでの繁殖が実現しました。本年10月末日には、6回目となるコウノトリ未来・国際かいぎを開催し、このような現実を踏まえた上でコウノトリの未来であったりコウノトリ野生復帰をシンボルに進める豊かな環境の創造に向け議論を深める予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期を余儀なくされました。このことにつきましては、現在おおむね1年後の開催に向けて宮内庁や関係機関と協議を続けているところです。

また、本年8月21日から23日にイギリスで開催される予定だったバードフェアにつきましてもコロナ禍で中止ということになり、バーチャル開催のオンライン上で参加したところです。

概要及び進捗状況の1に記載しておりますコウノトリ野生復帰推進事業につきましては、海外情報発信事業としましてラン・レヴィ・ヤマモリ氏のドキュメンタリー映画「KOUNOTORI」の多言語化を進め、現在YouTubeで公開しているところです。加陽湿地や戸島湿地、水田ビオトープなどコウノトリの生息地保全につきましては規模や数は確実に減少しましたが、企業のボランティア等も受け入れながら継続的に維持管理を続けております。

次に、37ページにお進みください。2、普及啓発・次世代育成・交流についてですが、コロナ禍でコウノトリKIDSクラブの通年プログラムが中止に追い込まれるなど大きな影響を受けておりますけれども、夏以降は少しずつ生きもの調査、学校への講師派遣などが再開されております。

3の生物多様性地域戦略の推進につきましては、豊岡自然再生アクションプランの実践が中心となっておりますけれども、出石町の鳥居区及び日野辺区と共同しまして水田ビオトープの整備や小学校等の連携による生きもの調査を実践するなど、地域に根差した活動となるような取組を継続しております。

最後に、市内の高校や団体等に行う自然再生活動の支援や自然生態系保全事業につきましては、例年どおりの実施となっております。

コウノトリ共生課からは以上です。

○委員長(福田 嗣久) それでは、続いて西谷課長。

○地籍調査課長(西谷 英) 38ページをお願いします。地籍調査事業の推進について説明いたします。

まず、地籍調査ですけれども、これは1筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、筆界を確認し面積の測量を行い、成果として地籍図及び地籍簿を作成し、その成果は法務局へ送付して既存の登記簿、地図が修正されることになります。

次に、概要及び進捗状況ですが、この調査は一つの区域を通常3年で完了させます。

まず、2番の調査図素図作成、図根三角測量です

が、これは主に現地立会い調査のための準備になります。これは1年目の工程となります。11区域ありますが、10区域は作業中で、もう1区域は入札準備中としておりますが、この1区域についても今月初めに入札は完了しております。

次に、3番の現地立会い調査、詳細測量ですが、これが2年目の工程となります。今年度13区域ですが、現地での筆界確認の立会いは全区域終了しており、現在は測量を実施しております。

次に、4番の地籍簿案・地籍調図案作成、閲覧ですが、これは3年目の工程となります。11区域に対して、その分につきましては地籍簿、地籍図案は作成済みです。10区域は閲覧を終了して、国や県への認証に向け申請書類を作成中で、1区域は現在閲覧中となっております。

説明は以上です。

○委員長（福田 嗣久） 続きまして都市整備部、富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 建設課からは、2件報告をさせていただきます。

まず、39ページをご覧ください。市道整備の推進です。

現況と課題、基本方針ですが、豊岡市道路整備計画に基づきまして、今年度は4路線の事業を推進しております。なお、この豊岡市道路整備計画につきましては今年度が最終年度を迎えるということになりますので、現在新たに計画を策定しております。

続きまして、概要及び進捗状況です。

まず、1番の市道福田宮井線道路整備事業ということで、これは桁江橋の架け替え工事になります。今年度につきましては、取付け道路の整備、それから併せて暗渠の改修工事を既に発注済みで、進捗率は15%程度進んでおります。

それから、2番目の上野橋道路整備事業ということで、これは出石の上野橋の架け替えになります。これにつきましては、今年度本工事2件ということで予定しております。1件につきましては、橋梁の右岸側の国道盛土ということで既に発注済みです。もう1件につきましては左岸の低水護岸というこ

とで、これは現在設計中です。なお、繰越工事ということで、左岸側の下部工の橋脚1基がまだ残っておりまして、現在その工事も施工中となっております。

続きまして、3番です。市道栃本太田線道路改良事業です。これにつきましては、今年度が一応最終年度となっております。既に工事は発注しており、現在鋭意進めておるところです。

続きまして、4番の市道池上日吉線道路改良事業です。これにつきましては現在設計中というか発注準備中で、今月中に入札予定となっております。なお、2019年度繰越工事も現在施工中ですが、12月末の工期ということで進捗率90%で進めておるところです。

それから最後、5番ですが、先ほども申しましたように道路整備計画につきましては現在策定作業を進めているところです。

続きまして、40ページをご覧ください。橋梁長寿命化事業の推進です。

現況と課題、基本方針ですが、豊岡市が管理いたします市道橋については、現在1,249橋あります。これらは高齢化や老朽化が進んでいく中で、安全性や信頼性の確保と効率的な維持管理が必要となってきます。このため定期的な点検で損傷を早期に発見するとともに、計画的な修繕や架け替えを実施することで橋梁の長寿命化を図ることとし、今年の3月に豊岡市橋梁長寿命化修繕計画を改定しております。今後はこの計画に基づきまして、計画的に修繕や架け替えを行っていきます。

概要及び進捗状況ですが、今年度予定しております事業につきましては、まず補修工事ですが全部で18橋予定しておりまして、現在11橋につきまして工事を施工中です。それから入札準備中が3橋、設計中が2橋という、そこに書いてあるとおりです。それから業務委託につきましても14橋を予定しておりまして、現在11橋が業務中、それから入札準備中が2橋ということになっております。

建設課からは以上です。

○委員長（福田 嗣久） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） それでは、都市整備課から4項目上げさせていただいております。私のほうからは、41ページの公園施設長寿命化計画から44ページのバス交通の充実と利用促進までを説明させていただきます。最後の稲葉川土地地区画整理事業については、北村参事のほうで説明をさせていただきます。

それでは41ページのほうをご覧ください。現況と課題、基本方針、概要については省略をさせていただきます。

進捗状況です。

まず、1点目の社会資本整備総合交付金事業でございますが、豊岡市の中央公園のであい遊具更新工事です。アからエについては記載のとおりです。10月末の進捗については65%でございますが、既に工事は完了しており、過日13日に竣工検査を実施したところです。

42ページをお開きください。2番目として公共施設等適正管理推進事業債、これは市債の事業ですが長寿命化事業です。これについては、まず（1）番、山王公園トイレ等の施設整備工事でございます。アからエまで記載のとおりですが、これについては10月の28日に入札を行ったことから進捗率はゼロ%でございますが、3月末を工期に早期事業執行に努めているところでございます。

続いて、（2）の日高児童公園フェンス等施設改修工事でございますが、これについても10月末現在の進捗が20%でございますが、現在従来の生け垣も撤去され、フェンスの基礎も終了し、工期内での竣工を見込んでいます。

続いて、（3）の出石町の町分公園フェンス改修工事と（4）の出石町の北部公園フェンス改修工事については、既に工事が完了しております。

（5）番目の出石城公園の登城橋の補修設計業務でございますが、現在のところ進捗率30%ということで、来年度の施工に向け補修設計業務を行っているところでございます。

続いて、43ページのほうをご覧ください。空港の利用促進と利便性の向上です。概要及び進捗状況

について説明を申し上げます。

まず1点目、兵庫県また但馬広域行政協議会、市などとの東京直行便開設に向けた陳情・要望の実施です。既に7月27日に日本エアコミューター株式会社へ要望会を実施したところです。なお、日本航空株式会社本社への要望についてはコロナ禍の影響により中止とさせていただき、書面等による郵送等での要望に切り替えたところです。

2点目といたしましては、まず県が中心となっております但馬空港のあり方検討会についてです。第2回目の検討会が7月の13日に実施されましたが、コロナ禍の影響もあり第3回の開催が12月の24日に予定されております。今年度末に一定の方向性が示されるというふうな予定となっております。

3点目といたしましては、特に地方創生事業として情報発信力強いJALとの共同によるスペシャルコンテンツでもって各種プロモーションを実施したところです。5年目の取組ということで、本年度がこの最終年度でございます。過日、JAL、ジャルパック、カメラメーカーなどの参加の下、ツアーの商品化につながる市内主要観光地のハムツアーを実施したところです。

4点目、5点目については記載のとおりです。

続いて、44ページをご覧ください。バス交通の充実と利用促進です。

概要及び進捗状況についてです。

まず、1点目の主要バス路線の維持についてですが、今年度、来年度にかけて県が主体となって但馬3市2町の管内における但馬地域公共交通計画策定調査業務に取り組んでいるところです。来年度の年内には計画策定を終えようとするもので、来月の12月から公共交通、特にバス事業についての住民意向調査が実施される予定となっています。この関係につきましては、本日、神戸新聞にも記載されたところでございます。

2点目のイナカー竹野海岸線についてですが、本年度から地域住民がドライバーとなって運転業務を担い、竹野観光協会がドライバーの運転調整、運

行計画における運営部分を担う新たな交通モードとして現在順調に運行事業が実施されております。今後の他の地域でのモデルケースになればというふうに考えております。

3点目は、神鍋高原線上限200円バスの運行実施です。毎年度評価、検証を行い次年度の運行計画を決定しており、2020年度では一部減便し運行継続をしたところですが、45ページのほうをお開きください。神鍋バスの2019年10月から1年間の利用者数について、今年の場合は特にコロナ禍の影響もあって人口減少もあり、目標の54%程度にとどまっている状況です。

4点目については省略いたします。

5点目として、2019年度から2年間の予定でトヨタ・モビリティ基金からの助成を受け、イナカー竹野海岸線における運行事業者と地元住民などと共同し、利用者確保に向けた再編調査業務を今年度実施する予定でした。しかしながら、このコロナ禍の影響によりまして観光客の減少に伴い正確な再編調査が実施できないということが明らかとなったため、来年度の7月から8月に事業を見送ることとしております。

また、寺坂地域のコミュニティを対象に地域の公共交通の在り方勉強会を実施されました。路線バスのバス停から集落までかなり距離がありまして利便性に欠けることから、集落内を走るチクタクの検討を中心に勉強会が実施されたところでございます。

私からは以上です。

○委員長（福田 嗣久） 北村参事どうぞ。

○都市整備課参事（北村 省二） 私からは、日高町岩中地内で進めております稲葉川土地区画整理事業の進捗状況についてご説明いたします。

お手元の資料の46ページ、47ページをご覧ください。稲葉川土地区画整理事業は平成18年度に準備作業に取りかかりまして、今年度事業完了を予定しております。それに伴い、工事発注や業務委託を実施しております。

まず工事ですが、補完工事を発注し、株式会社清

和建設と312万4,000円で契約をしております。9月7日に現場に着手しており、おおむね完成しておるところでございます。

進捗率としましては10月末時点で95%、現在設計変更等の精算業務を行っております。

また、業務委託では区画整理登記業務を発注し、兵庫県まちづくり技術センターと1,243万円で契約をしております。5月7日から換地処分に向けた事業計画書、それから換地計画書、換地処分通知の作成や発送業務を進めております。進捗率ですが、10月末時点で80%、現在換地計画の変更申請を行っているところでございます。また、業務完了に向けた換地業務の状況としましては、第9回事業計画変更及び換地計画の認可、換地処分通知書の発送、公示送達などの準備をしておるところでございます。

都市整備課としては終わりでございます。

○委員長（福田 嗣久） 山本課長、どうぞ。

○建築住宅課長（山本 正明） 建築住宅課からは、48ページ以降4項目ご報告させていただきます。まず1つ目、市営住宅の管理についてでございます。

若干現況、課題を書いております。4月1日では190棟と記載しております。後ほども触れさせていただきますけれども、現時点におきましてはこれが185棟ということで、移住促進住宅に所管替えしたということで185棟、戸数にしたら延べ970戸の管理を行っていただいているというものでございます。

その下段、若干書いておりますけど、徴収の関係におきまして、括弧して2017・2018年度、現年度分100%徴収と書いております。以前ご報告もさせていただきましたけれども、これプラス2019年度も100%ということで、3年連続で100%徴収ができたという状況でございます。

基本方針はちょっと飛ばさせていただきます、概要、進捗状況です。

まず、市営住宅の維持管理ということで、公営住宅長寿命化計画に基づきます記載しております工

事をそれぞれ実施しております。

あと、(2)で長寿命化ではございませんけども、記載しております工事それぞれ改修工事等を実施しておる、済んだもの。一番最後の栄町テラスだけが現在準備中というような状況でございます。

次に、2の住宅使用料等の滞納対策ということで、先ほど現年徴収、3か年ということをお願いしたけども、それぞれ滞納に伴いまして本人徴収と連帯保証人等に投げかけ、催告等を行う中での実施ということで、それで難しければ記載しております支払い督促、即決和解等を取り組んだ中での徴収に取り組んでおるというものでございます。

あと、3の市営住宅の空き室活用対策ということで、先ほど5戸ということをお願いしました。記載しております5つの住宅におきまして、空き家対策としての定住促進、つまりお試し居住を実施しておるというものでございます。入居率等については、ご覧いただければと思います。

あとその下、栄町住宅を市内の大学ということで県立大の分です。県の住居としまして活用しております。14戸確保のうち、12戸が現在入居中という状況でございます。

そして一番下、市営赤野特定公共賃貸住宅5戸、これが先ほど申しました空き家状態でございましたので、移住促進住宅として但東振興局に所管替えを行ったものでございます。

めくっていただきまして、50ページをご覧ください。民間住宅耐震化の促進についてということで民間住宅等の耐震化を進めるということで、概要及び進捗状況のところをご覧くださいと思います。

1の簡易耐震診断の推進ということで、今年度申請が30名ということで進捗をしております。

あと2の全体補強型の推進ということで、(1)耐震改修計画策定費補助、これが申請が2件。それと、その後に(2)で実際の改修工事の補助、これが申請が1件ということで、これは大規模な全体補強という形での工事でございます。

その下、3の1階居室等補強型の推進ということで、これ市単で設定しております。住居に伴う1階

居間だとか寝室、そういったところを局所的に改修、補強しようというものでございます。(1)で計画策定が申請が6名の状態、(2)でその後の補強工事、これが申請10名。(3)防災ベッドの設置というのがございますけども、申請は現在のところございません。

あとその下、4の耐震リフォーム補助推進ということで申請が11名ということで、上の2、3に書いております耐震工事に併せましてリフォームされたときの補助ということで、申請が11名という状況にあるというものでございます。

51ページをご覧ください。老朽危険空き家対策の推進についてということで、現況、課題のところそれぞれ2020年3月末ということに記載しておりますけど、若干今年度も夏に定期調査等を行った中での結果を報告させていただいております。

今年11月1日現在でいきましたらちょっと低いんですけど、特定空き家等が3戸とありますのがこれ現在4、その次に早急な対応が必要と思われる空き家が16とありましたのが19、その次、このまま放置されれば将来危険な空き家となるおそれがある空き家が31とありますが35、管理されているものや周辺に影響がないその他の空き家が100とありますのが105ということで、計150というのを11月1日時点においては163という数字として把握して、追跡をかけておるという状況でございます。

あとその下、概要及び進捗状況です。

1の空き家等対策協議会の運営ということで年3回ほど予定して、既に2回を実施して、今年度も1回協議等お世話いただく予定にしております。

その下、2の老朽危険空き家の除却等の現時点での実績的なこととなりますけども、まず(1)の老朽危険空き家除却支援事業補助、補助金を交付しての除却というやつですけども、記載しております現在調整中の案件が1件あるという状況です。

その下、(2)略式代執行、特定空き家等除却業務の委託ということで、これは報告させていただいておりました城崎町の来日区、これの現在執行最中と

いう状況でございます。

(3)の代執行も予定しておりました。進捗に書いておりますが、この物件につきましては予定物件が地元との協力の中で整理解体されたということで、代執行はせずにそういう形で除却に至っておる。整理されておるといふ状況でございます。

あと(4)相続財産管理人選任申立てによる除却1件ということで、これにつきましては昨年度申立てを行いまして、そちらでの対応していただく中で、これも報告させていただきました今年8月に現場的には除却が済んだという状況であるというものです。

最後に52ページをご覧ください。土砂災害特別警戒区域内の住宅等の対策ということで、特別警戒区域、いわゆるレッド区域にあります住宅、旅館云々を対象にした除却、移転、そして防護壁をするとかいったものに対する補助を昨年度から設けておりますけれども、個々は説明申し上げませんが、現時点においてはこれらの補助の関係、執行はゼロという状況でございます。若干問合せ等入っておりますけれども、執行うんか着手には至っていないという状況でございます。

建築住宅課は以上です。

○委員長(福田 嗣久) ご苦労さんでございました。大変盛りだくさんの説明をいただきましたけども、事務局、後半は昼からの予定してますか。

○事務局主幹(小林 昌弘) 一応予定で11時10分から。

○委員長(福田 嗣久) 11時10分。続けてよろしいか、それじゃ、質疑のほう。

それじゃ盛りだくさんの説明を……(発言する者あり) いやいや、11時10分。このままいきますわ。

それじゃ質疑のほうをお受けします。

どうぞ。(「ようけあり過ぎて困る」と呼ぶ者あり) ようけあり過ぎて思ったら、絞って。(「短めの人どうぞ」と呼ぶ者あり) ございませんか。

村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 簡単なことですが、コウノト

リ共生課にお尋ねするんですが、コウノトリ文化館及びあの一角の施設というのは教育施設ですか観光施設ですか。まずそのところを。

○委員長(福田 嗣久) どうぞ。

○コウノトリ共生課長(宮下 泰尚) 郷公園は社会教育施設です。

○委員長(福田 嗣久) よろしいか。

○委員(村岡 峰男) それで郷公園を含めて、コウノトリが豊岡にとっては大事な観光資源だというふうに私は思うんですね。ところが、お聞きをすると、文化館の奥でコウノトリが常に尾羽根というのかな、飛ばないようにしてコウノトリが五、六羽おって、そのコウノトリが観光客からコウノトリ見たという実感を持たれてるようなんですが、そのコウノトリが羽数、鳥の数が減って、なおかつ餌をやるときはもうどっか別室に連れていきて餌をやるから、観光客の皆さんが来てもコウノトリを見ることができないと。あるいはその餌をやるときに外に飛んでる鳥が餌を求めてきて、数ようけ見れるとって観光客の皆さん結構楽しみにしとってみたいんだけど、それが全然なくなっちゃったという話を聞くんだけど、私は社会教育施設だと言いながら観光資源としても非常に大事なんで、その辺りを社会教育施設だからといってその観点ばかりを追求したら、僕はあまりええことないんじゃないかな。その観光面も追求するという姿勢が要ると思うんですけども、どうかな。

○コウノトリ共生課長(宮下 泰尚) 兵庫県教育委員会が定めましたコウノトリ野生復帰グランドデザインという計画に基づきまして、コウノトリの野生復帰事業を進めております。

西公開ケージのコウノトリですけど、言われるとおりもともと6羽から10羽ぐらいがいたものを2羽にしまして、日中に餌をやらないというふうに10月14日からしております。それは野生のコウノトリが給餌される、人に餌を与えられるというのが野生復帰にとっては非常に問題だということで、その餌取りを、盗餌をなくすという意味で今試験的に2羽にして、夜間に餌を小屋の中でやるという

体制を取っております。

ですので、言われるとおりにたくさんのコウノトリが舞う姿を楽しみにされていたお客様にとっては物足りないという印象を与えるかもしれませんけども、あそこの施設は観光施設とはやはり言えなくて、コウノトリ野生復帰を進める上での研究施設であり、豊岡の文化であつたり取組を見ていただく学習施設という面が大きいということで、現在は試験的に2羽にして夜間に餌をやるという体制を取っております。

県のほうも言っておりますけども、この状況をモニタリングしながら、また改善していけるなら改善していこうという気持ちを持っておられますので、何とぞご理解いただければというふうに思います。

○委員長(福田 嗣久) 村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 試験的だということを聞かせてもらいましたので、必ず元に戻るとのこと、元にというんかこれが継続するということにはならんなということを思います。

さっきも言いましたけども、観光の面もやっぱりきっちりと追求するということがあつて私はわかりだというふうに思うんで、その辺りをよろしくお願いします。以上です。

○委員長(福田 嗣久) ほかにございませんか。

石津委員どうぞ。

○委員(石津 一美) そしたらざっくりで結構なんですけども、経済政策の推進のところで2点ほどよろしいでしょうか。

ビジネスの相談窓口で相談者数が34名とありますし、その相談者の中にどのような内容があつたのかというのをちょっとざっくりでいいので、それをお聞き1点と、もう一つ、創業支援補助金、交付決定が11件とありますけども、そのうち助成が8件。その中の創業支援の起業の取組の内容が分かればちょっと教えてほしいんですけど、よろしく願いします。

○委員長(福田 嗣久) 午菴課長。

○環境経済課長(午菴 晴喜) ビジネス相談の内容でございますけども、当然最初に自分がこういった

ことを考えてるので、その取組が継続していけるだろうかというようなその入りの相談ですとか、あとは着手した後にもその進め方がいいのかというようなことを専門の方に相談をされていくということで、いろいろなケースがそれらを含めてあると思います。

創業のほうでございますけども、今、女性の方の創業の相談が増えてきてありがたいという部分もあります。内容につきましてはエスエムエムみたいなものがあつたりとか、それから食料品の関係があつたりとかということで多種にわたっております。以上です。

○委員(石津 一美) 分かりました。ありがとうございます。

○委員長(福田 嗣久) よろしいか。

○委員(石津 一美) はい。

○委員長(福田 嗣久) ほかに、ございませんか。
椿野委員。

○委員(椿野 仁司) ちょっとたくさんあるけど、意見とあと資料請求ということでしたと思います。

まず、環境経済の経済政策の5ページのところからずっと続くんだけど、以前からステップアップ事業も含めて、そしてまた今回も補助金の拡充、そして創業支援だとかコロナ対策に対していろいろと起業支援、そしてまた事業支援を行っているわけけども、これは実際に基本的に補助を決定された額はここに書いてあるんだけど、そういう起業支援や事業支援に対する施設等に対してのその公に出す、ネットで見れば分かる分と分からない部分があるんだけど、こういうのって最終的には出る、出ない。プライバシーの関係もあつて出る出ないはどっち。

○委員長(福田 嗣久) 午菴課長。

○環境経済課長(午菴 晴喜) 公募については、市のホームページ等で公募をします。申請をされてきて、申請者については内部のほうですけども審査会をし、決定をした業者名については出していくという形を取っております。

○委員長(福田 嗣久) どうぞ。

○委員(椿野 仁司) コロナ対策でいろいろとたく

さんあるでしょ、事業支援。それから、創業支援もありますよね。それから製造業もあって、ああいうものに対して応募されて、それでいわゆる認可されるというかそういうことで形を結果出されたところに対してのその公表はあるの。それはない。公表というか、そういう資料は我々頂けるの、頂けない。どっち。

○委員長（福田 嗣久） 午菴課長。

○環境経済課長（午菴 晴喜） 企業名としては公表、審査を通ったものとかで可能だと思いますので。

○委員（椿野 仁司） それは最終的にまた中間でもいいから出して。決定した分に対してはね。

それから、次の7ページのこれ意見だけでもいいんだけど、もしあれだったら聞かせて。

今のとゞ兵の改修について、たしかこれ市が助成金出したよね。あの建物に対してのあれはよく分かるんだけど、外壁にすごい奇抜な絵が描いてあるんだけど、あれって建物という感覚なのか、それともデザインという。ちょっと何でもありなのか、何でもに対してなのか、その辺をちょっと聞かせてほしいんだけど、考え方を。地元議員もここにおんなるわな。

○委員長（福田 嗣久） どうぞ。

○環境経済課長（午菴 晴喜） 外壁の分についてはあれはデザインということで、今回の事業の中での取組の絵ということではないということでもまず一つご確認いただきたいと思います。

○委員（椿野 仁司） まあ聞いてとくだけ聞いときました。次行きます。

それから専門職大学、これについてちょっとお聞きします。

一応名前が変わったということで、それはそれでいいと思うんだけど、芸術と文化、そして観光ということがここには入ってて、当然この2つの部門でという大学のことの最初の基本的な考え方を聞いてるんだけど、このすみ分けというのか、最終的にはこれ2つの専門に分かれるんですか。

それと、ここに書いてある地域を支える高度な専門的職業人材の育成って書いてあるんだけど、講師

はこれはめどがついて、応募される生徒の人たちは結構たくさん来られてるようなんだけど、講師のめどはどの程度ついてるのかな。

○委員長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 17ページの学位のところにありますとおり芸術文化学士というものと、それから観光学士というものがあります。1、2年時はクロスをして授業を受けるんですけども、最終的には専門性を持った人として卒業していくというふうに理解をしています。

それから、教授陣につきましては既に確定をしております、今10月23日に認可された内容が恐らく11月末ぐらいに公表されますので、その中でそれぞれの教授陣のラインナップも公表されるというふうに聞いてございます。

○委員長（福田 嗣久） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 兵庫県も来年の予算は経費を大きく削減するという、2,000億円だったかな、3,000億円かどっちか忘れたんだけど、このコロナで大変な税収なりが減るということだね。それでこれ県立大学なんだけど、そういった経費等々についても大きな影響が出ないかというところに対してちょっと心配してるんだけど、それはどうですか。

○委員長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 以前からご説明させていただいているとおり、地元としては定住自立圏の関係の交付金の8億円を寄附するということが公表させていただいておりますけれども、その後の運営につきましては基本的には大学法人のほうで責任を持ってやっていただくということで認識してございます。

○委員長（福田 嗣久） 椿野委員、どうぞ。

○委員（椿野 仁司） そこまで県のことまでは知りませんということですか。分かりました。

それから、19ページのその設置、ここにある専門職大学の地域連携の関係なんだけど、この検討会議のメンバーはどういうメンバーですか。

○委員長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 兵庫県の専門職大学準備課のほうで事務局をしております、そちらから県の川目参事と日光室長が出ておられます。それから但馬3市2町の企画担当課長、それから県民局の地域政策室長、それから教員の採用予定者の方が3名入っておられます。

○委員長（福田 嗣久） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） ここに産学官金連携って書いてあるんだけど、その地元の産業、いわゆる地域の地域の人たちっていうか、企業はここには入らない。

○委員長（福田 嗣久） 谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 検討会議のメンバーには入っておられませんが、地域リサーチ&イノベーションセンターの活動の在り方として、当然地域の産業であるとか地域の金融機関と連携していかなければならないという議論をしています。

○委員（椿野 仁司） 分かりました。

○委員長（福田 嗣久） よろしいか。まだありますか。

○委員（椿野 仁司） あと資料請求だけお願いします。

コウノトリ共生課、今220羽を超えてるって、野外で暮らすって書いてあるんだけど、暮らしているだけじゃなくて亡くなったコウノトリもいると思うんだけど、一体今まででどれだけ生まれてどれだけ死んでいったコウノトリが何ぼになるんかということと、それからここにも書いてあるように1府6県でって書いてあるんだけど、一体全体どこにどんなふうにして暮らしているかというのをちょっと一回資料を、全国の地図でもいいし文字でもいいんで、ちょっとそれは一回提示してほしいんで資料請求をいたします。

それから、徳島に移りすんでた、この間、徳島県のお客さんが来られて、せっかく家族でいたんだけど2羽ぐらい死んじゃったって聞いたんだけど、それが本当かどうか一回確認したい。

○委員長（福田 嗣久） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 資料については、後ほど提出させていただきます。

徳島のコウノトリが亡くなったという件については、ちょっと2羽だったのか1羽だったのか記憶が定かではありませんが、1羽は亡くなっておるのは知っております。以上です。

○委員（椿野 仁司） じゃ最後1個だけいいか。

○委員長（福田 嗣久） 今の資料請求は、まだできましたら全員に配っていただきますように。ポストインで結構です。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 資料ができましたら、ポストのほうに入れさせていただきます。

○委員長（福田 嗣久） 椿野委員、どうぞ。

○委員（椿野 仁司） すみません、たくさん。個人的に聞いてもいいんだけど、山本課長、建築住宅課、老朽空き家の関係なんだけど、この間城崎でも来日であったんだけど、あれは壊した後は土地は一体誰が権利があって、そのことについて市のほうは何か考え方はあるのかどうか。それを聞かせて。

○委員長（福田 嗣久） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） ちなみに今の言われました件……。

○委員（椿野 仁司） 全体を通して。

○建築住宅課長（山本 正明） 総合的な考え方というところで所有者が不在、つまりもう相続等一切、相続放棄とかいう形でもうその所有者がいないというときに略式という手法をもって、もう所有者がいないんで危険というのを一つの権利として訴えて裁判所が認めてくれて、略式という手法を取ります。しかし、それはあくまでも建物を除却するという作業そのものを市が代わって、いないんで実施する。ですのでそこまで、残りました土地というのは所有者不在の状態に残るのも事実です。ですので、行政としてはそちらの跡地のことを直接手出してどうこう言うことは基本的にはようしません。

しかしながら所有者がございませんので、例えば行政がそこにお金を投入することになりますので、それを債務をうちが持つとということがございますので、それを裁判で訴えてというか申し出てありました相続財産管理人、つまり所有者がいないというときに何らか債権的権利を持つと人がそう

いう管理人を国というか裁判所に対して申立てをしたら、その管理人さんがその土地をどう処理しようかということを考えられますので、その中で例えば市がそこにこだけお金投入しましたから、うちが債務を持てますからということを申し立てれば、その管理人さんがその土地を処分するなりなんなりしてお金に換えて、その上でもしかしたらバックがあるかも分からないという形です。

ただ、それは相続財産管理人に申し立てるとするのは、ある所有者不在だ。土地1件だけじゃないんです。田んぼ、畑、もういろんな債権全部全てが整理がつかないと最後の清算には至らない。最後、清算に至ったときにはそういう債権があるところには分配して、それでも残ったら国に帰属するというような形になるもので、現時点においてはそういう返ってくる可能性があればそういう手続に行くんですけども、なかなか難しいのが現実論というのが現状です。ですから、ちょっとあそこについても今のところは手出せないかなという状況であります。

○委員長（福田 嗣久） よろしいか。

○委員（椿野 仁司） 分かりましたか。いいです。

○委員長（福田 嗣久） ほかの委員さん、いかがでしょうか。

足田委員。

○委員（足田 仁司） 資料の29ページ、これの一番下にコウノトリ育むお米の販売ということで海外展開の推進。数字上げてあるんですけど、市長も結構これ誇らしげに言われるんですけど、輸出と言うにはちょっと数字がちっちゃいかなと。特にドバイとか台湾見たら40キロと20キロですね。手では提げれんけども、こういう数字。何が聞きたいかと思ったら、この海外に展開するのはいいと思うんですけど、どのぐらいの費用をかけて、現地ではキロ何ぼぐらいで売られてることになるのか分かれば教えていただきたいのと、ちょっとまとめてお願いします。

次、35ページ、下のほうに住宅用太陽光発電の設置支援ということで、今現在、売電の単価でこういう個人で取り組んだ場合に何年ぐらいで事業費

が回収できるものなのか。さっき説明の中で中断してるという説明があったように思うんです。何を中断されたのかを教えてください。

あと1つ、49ページ、市営住宅たくさん管理されてますけど、私の近くにも築50年近くなるうかというようなものもありますが、耐震だとか補強工事ぐらいで一体何年もたせるつもりなのか。そういう見通しがあれば。

それと、廃止のための例えば入居停止なんかをしてるところは実際のどのくらい、あればそれも教えてください。以上です。

○委員長（福田 嗣久） 3点。

柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） それでは、私のほうからは29ページのコウノトリ育むお米のブランド化の点のご質問でございます。

どのぐらいの経費をかけてるかということでございますけれども、29ページの概要及び進捗状況のところに記載をしておりますけれども、2番目の海外展開の推進ということで、本年度の予算につきましては542万円の経費を計上しているところでございます。

具体的に、それぞれのところでどういうふうな値段で売られているかということでございますけれども、例えばシンガポールにおきましては、これコウノトリ育むお米の無農薬ということになりますけれども、2キロで2,600円程度というふうな実績がございます。5キロで6,800円程度というふうな状況でございます。そのほか、例えば香港ですと2キロで3,100円程度、10キロで1万6,000円程度というふうな状況です。今分かる範囲では、そのような金額で取引されてるという実例があるということでございます。

○委員長（福田 嗣久） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 住宅用太陽光発電システムなんですけども、自家発電した電力をまず自家消費しまして、使い切れなかった余剰電力を売却するというところで、現時点では10キロワット未満の場合、1キロワット21円という単価で売

却できております。

何年で元が取れるのかということなんですけども、まず自家消費の分がありまして、その家庭でどれくらい電気を使ってるのかというのがまちまちであるのと、それからメーカーによって設置コストというのも違います。どれくらいのキロワット数を上げるか、3キロワットなのか9キロワットなのかというようなところでもいろいろありまして、我々のほうでは何年で元が取れるのかということとはちょっと分かりません。

F I Tといいますのは10年間、今21円と言いましたけども、21円の価格で固定して買い取ってくれる。変動はしないという約束事の制度でございます。

それから、最後に何を中断しているのかということなんですけども、豊岡市が個人住宅用の太陽光発電システム及び蓄電池を設置するために補助金を出しているんですけども、今年度予算600万円を使い切ってしまいまして、今年度の補助は一旦もうこれで終わりますよと。来年度予算要求して認められればまた再開できますよということで、およそ半年間ぐらい新規の申請に応えられない状況になっているということです。以上です。

○委員長（福田 嗣久） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 市営住宅に関しますご質問いただきました。

まず、耐用年数的なことになるんですけど、市営住宅につきましては公営住宅法施行令におきまして鉄筋コンクリート、あれだったら70年、準耐火造というプレキャストコンクリートとかそういったものが45年、木造で30年という一つの目安が示されております。そういった中において、当然今年から動いておりますけども木造の中でも耐震性が低いと昨年検査で判断した2つの住宅、これ報告しておりますので一本松、あと但東の出合市場、これについては今年度から既に地域に入りまして、違う市営住宅等へ移転等お願いするというようなことで、転居に向けてこの2団地については動きを既に取っております。

豊岡市全体におきましたら、一応用途廃止予定という公営住宅の長寿命化計画にのせておるんですけども、用途廃止予定が9団地ございますので、先ほど言いました2団地は既に着手しておるということ。残りも入居停止とか言われました件については、基本的な用途廃止予定というところについて新規の入居というのは今お断りしとるということで、今後の動き、入居状況等を踏まえてその廃止に向けた処理を進めていく。いかんせん入居者がやっぱり住まいですから、思いつきで1年以内に出ていってくださいとかいうやなことはちょっと難しいんで、計画的に進めていきたいなというふうな感じでおります。以上です。

○委員長（福田 嗣久） 足田委員、よろしいか。どうぞ。

○委員（足田 仁司） 今の米の輸出ですけども、お聞きすると相当高値でしか取引できてない。もっと安くするためには、多分量を増やさんとスケールメリットが出ないんじゃないかないう予測と、向こうのバイヤーが本当に一生懸命動いてはくれていると思うんですけど、もっともとその販売促進みたいなことをせなあかんと思いますけど、その将来的な見通しはどう考えておられますか。

○委員長（福田 嗣久） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 今、海外のほうで輸出といいますか売らせていただいているお米は無農薬のものになりますので、量自体が限られるということでございます。ですので、それをどんどん販売をしていこうと思えば、作るほうも増やしていかないといけないということがありますので、当然、栽培面積の拡大等も併せてやっていくべきということで今進めておりますけども、なかなか栽培をいただくにはご苦労もございますので、そんなに一足飛びに伸びるということではございませんので、そこは供給できる数量と見比べながら進めていかざるを得ないのかなというふうに思っております。

それと、単なる米を売るということではなくて、やはりコウノトリの野生復帰というふうなストーリーを売っていくというのか、そこを気に入ってい

ただいて購入していただくというようなことが基本にあらうかと思しますので、そういったこととセットで進めていく必要があらうかと思ひます。ですのてなかなか量をどんどん売っていくというふうなことはちよつとつながらない点もあらうかと思ひますけれども、グローバルで豊岡が評価されるような一つの推進エンジンとして進めていきたいというふうなことです。

ですのて、先を見越したというか見通しですけども、なかなかどんどん順調に上がっていくということでは難しいかなと思ひますけれども、目標を持って進めていきたいというふうには思っております。以上です。

○委員長（福田 嗣久） どうぞ、足田委員。

○委員（足田 仁司） ぜひ特にこのドバイ、台湾辺りは桁をもうちよつと上げてほしいなと。個人取引でもできてしまいそうな目方なんで、ぜひ頑張っていたきたい。どんどん売っていくことはいいと思うんですけど、実績も上げていくように取り組んでいただきたいなと思ひます。

それから、太陽光発電は自家消費の分を要するにそれを度外視して、例えば3キロワット程度で設置費が何ぼぐらい、売電に置き換えると大体このぐらいもうかるはずやから何年ぐらいで償却できるとか、そんなざつくりとした数字はないですか。

○委員長（福田 嗣久） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 確実なことは言えないんですけども、太陽光パネルの減価償却年数が大体17年と言われているのと、それからまず20年は間違いなく使用できると言われておりながら30年近くはもつよというふうなメーカーの言葉もありまして、10年では回収は不可能かもしれませんが、十数年では回収できるのではないかなというふうに思っておりますが、ただもともとFITが始まったときは42円ぐらいの売却単価で始まっております、現在は先ほど言ひました21円。これは毎年毎年1円とか2円ずつ下がっていくのは確実です。ですのて償却できる期間というの、例えば現在が12年だとすれば13年かかる、14

年かかる、15年かかるというふうになる可能性はあります。

ただもう一方、メーカーが生産するコストも下がっておりますので、ここの関係が現在私のところではちよつとしっかりとした数字を把握してないというご回答しかできません。

○委員長（福田 嗣久） よろしいか。

ほかの委員の皆様、ほかはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福田 嗣久） それでは質疑を打切りをさせていただきます、当局の皆さんもよろしいですか。

それでは、これで休憩を取らせていただこうと思ひます。

暫時休憩いたしますが、当局の皆さんはこれで退席をしていただきます。

再開は11時25分。

午前11時12分休憩

午前11時21分再開

○委員長（福田 嗣久） それでは、大変ご苦労さまでございます。少し時間が遅れておりますけれども、後半戦に入りたいと思ひます。

それでは、お手元の次第に沿って進めていきます。

協議に入りますまでに、今回は役員改選後初めての委員会でございます。ここで出席者の皆さんに自己紹介をしていただきたいと思ひます。

まず委員からですけど、私、福田と申します。このたび建設経済委員長を仰せつかりました。どうか当局の皆様方、よろしくお願いをいたします。また、委員の皆さんもよろしくお願い申し上げたいと思ひます。

副委員長さんからどうぞ。

○委員（清水 寛） 副委員長をさせていただきます清水です。

本当に全くこういう役をするのは初めてですのて、委員長をしっかりサポートしながら市民の皆さんのために委員と当局一丸となって力いっぱい力を合わせてやっていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長（福田 嗣久） 石津さんからどうぞ。

○委員（石津 一美） 石津一美でございます。またよろしく願いいたします。

○委員（村岡 峰男） 村岡です。よろしく願いします。

○委員（岡本 昭治） 岡本です。よろしく願いいたします。

○委員（椿野 仁司） 椿野です。

○委員（足田 仁司） 足田です。どうぞよろしくお願いします。

○委員（木谷 敏勝） 木谷です。よろしくお願いします。

○委員長（福田 嗣久） それでは当局、各振興局から名簿順でお願いしたいと思います。どうぞ。

○城崎振興局長（熊毛 好弘） 城崎振興局長の熊毛です。どうぞよろしくお願いいたします。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 城崎振興局地域振興課参事の橋本です。どうぞよろしくお願いします。

○城崎温泉課長（植田 教夫） 城崎温泉課の課長をしております植田です。どうぞよろしくお願いします。

○竹野振興局長（瀧下 貴也） 竹野振興局長の瀧下でございます。よろしくお願いします。

○竹野振興局地域振興課長（榎本 啓一） 失礼します。竹野地域振興課の榎本です。どうぞよろしくお願いします。

○日高振興局長（小谷 士郎） 日高振興局長の小谷士郎といいます。よろしくお願いします。

なお、ちょっと吉田参事は本日忌引の関係で欠席しておりますけどもよろしくお願いします。

○出石振興局長（村上 忠夫） 出石振興局長の村上です。どうぞよろしくお願いします。

○出石振興局地域振興課参事（川崎 隆） 出石振興局地域振興課参事の川崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） 但東振興局地域振興課参事の小川です。よろしくお願いい

たします。

振興局長のほうは、ちょっと今日精密検査のほうで欠席させていただいております。

○委員長（福田 嗣久） 上下水道。

○上下水道部長（米田 眞一） 上下水道部長の米田です。

○水道課長（谷垣 康広） 水道課長の谷垣です。よろしくお願いします。

○水道課参事（和田 哲也） 水道局参事の和田と申します。どうぞよろしくお願いします。

○下水道課長（石津 隆） 下水道課課長の石津です。よろしくお願いします。

○下水道課参事（堀田 政司） 下水道課参事の堀田です。どうぞよろしくお願いします。

○委員長（福田 嗣久） よろしく願いをいたします。どうぞ。

○農業委員会事務局長（丸谷 祐二） 農業委員会事務局、丸谷です。よろしくお願いいたします。

○事務局主幹（小林 昌弘） 事務局の小林です。よろしくお願いいたします。

○委員長（福田 嗣久） ありがとうございます。それでは、協議事項に入らせていただきます。

委員会所管事項の事務概要について、それでは（１）委員会所管事項の事務概要に入りたいと思います。

まず各振興局、それから続きまして上下水道部及び農業委員会事務局から一括して説明をしていただき、その後質疑を行うという形で進めていきたいと思います。

なお、委員の皆様、当局の皆様、質疑、答弁に当たりましてはくれぐれも要点を押さえて簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願い申し上げます。

また、委員会での発言は、委員長の指名の後、マイクを使用して発言者名を名のってから行っていただきますようご協力をお願いいたします。

それでは、各振興局、上下水道部及び農業委員会事務局の説明をお願いいたします。

まず、各振興局の説明を城崎振興局から順にお願いをいたします。

橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） では、資料まず53ページをお開きください。城崎振興局の状況について説明いたします。

城崎地域では、年間を通じた観光客の誘客を図るため、城崎振興局プロジェクトとしまして3つの取組を実施しております。それぞれの内容につきましては、資料のとおりでございます。

まず、1つ目は城崎温泉夢花火事業への支援についてです。今年は例年より時期が少し遅かったですが、8月17日から8月28日までの平日及び30日の日曜日に花火の打ち上げを行い、合わせて11回打ち上げを実施しております。

2つ目は、城崎温泉の代表的景観の一つ、大谿川沿いの桜や柳の健全な育成についてです。桜につきましては、これまで土壌改良、病害虫防除を実施しており、柳は成長促進としまして土壌幹注を実施しております。

3つ目に、太鼓橋などの美装化事業についてです。今年度は愛宕橋の美装化を実施しており、昨年度までに柳湯橋、弁天橋、桃島橋の美装化が終了しておりますので、今年度で太鼓橋は4橋全てが終了しました。また、大谿川沿いのパラペットについては、大橋から地蔵湯橋の間の両岸について美装化を実施しております。

以上でございます。

○委員長（福田 嗣久） 竹野振興局。

○竹野振興局地域振興課長（榎本 啓一） それでは、54ページご覧ください。竹野振興局の取組について説明をさせていただきます。

竹野地域では、人口減少の緩和と地域振興を図るため様々な事業に取り組んでおります。

概要及び進捗状況の1つ目、川湊再生プロジェクト事業ですが、主要事業である竹野港海町マーケットは新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた全ての開催が中止となりましたが、少人数で実施できるまち歩き散策は10月現在で8回実施い

たしております。また、JR竹野駅に人が集いにぎわいを創出する場として、竹野婦人会と愛育班が中心となりまして空き店舗を活用して7月に集いの居場所、喫茶店をオープンをしております。

次に、2つ目の振興局プロジェクト事業の地域で行われる3つの事業、竹野カニカーニバル事業、竹野浜オープンウォーター大会事業、北前まつり事業につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての事業が中止となっておりますので、予算は減額いたします。

次のページ、プロジェクトマッピング事業は竹野の夏の新たな事業として御用地館で障子やふすまをスクリーンとして地元の資源を盛り込んだ映像を映し出し、市民や観光客に鑑賞していただく予定で映像のほうは作成していますが、上映につきましては新型コロナウイルス感染拡大防止のため来年度へ延期といたしました。これにつきましても、上映に係る予算は減額をいたします。以上です。

○委員長（福田 嗣久） 日高振興局。

○日高振興局長（小谷 士郎） 56ページをご覧ください。概要に対する進捗状況でご説明をさせていただきます。

まず、1つ目の日高振興局プロジェクトにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で若干進捗は遅れている状況でございます。

（1）の道の駅「神鍋高原」の関係です。隣地に計画されてます民間主導のホテルにつきましては、事業者の正式発表が当初の予定から4か月近く遅れました。7月30日に正式に発表されております。このホテルは、2022年秋のオープンに向けまして本格的に始動していただいております。現在は、来春5月頃から工事を開始すべく準備をされているというふうにお聞きしております。記載しておりますインフラ工事につきましては、施設の建設の配置がほぼ確定しましたので、3月中の完成をめどに目指しております。

なお、管の布設工事に伴います正式な舗装復旧工事につきましては、予定どおり来年度予算に要求をしたいと考えております。

(2) のことにつきましては(1)に関連するんですが、9月から専門家のアドバイザーを交えて検討に入っております。10月には観光協会会員を対象に道の駅に関するアンケートなどを実施しまして、その結果も踏まえ、道の駅の周辺の魅力アップを図る計画を来年の7月頃までにまとめたいと考えております。

次、(3)につきましては、青年団が来られたことによりまして演劇を通じた新たな人の動きが地域に発生しております。それをいかに地域の活性化につなげるかというそういった話合いをする機会を予定しておりましたが、実施を年度の後半に計画変更しております。

(5)の事業につきましては、学校側の都合により本年度は中止をしております。

2つ目の観光事業です。予定しておりました(2)から(4)の施設修繕につきましては、もう既に完了しております。

説明は以上です。

○委員長(福田 嗣久) 出石振興局。

○出石振興局地域振興課参事(川崎 隆) 出石振興局からは、58ページの出石振興局の取組についてご説明させていただきます。

出石への観光客はほとんどがマイカーでの来訪となっており、週末には渋滞が発生している状況です。特に春と秋の繁忙期は車と歩行者がふくそうし、市民生活にも大きな影響を及ぼしている状態です。この問題を解決するために、交通の流れや交通量の実態を調査して地域の意向を踏まえた協働による交通環境の改善によって安全で安心な出石城下町の街並みと風情を生かしたまちづくりの推進を図ることとしております。

概要につきましては、現状の交通量や駐車場利用状況、来訪者へのアンケート等の調査を実施してデータ収集、分析及び検証を行って、検討委員会の中で交通環境改善計画策定を行います。

進捗状況につきましては、兵庫県立大学、近畿大学、大阪大学の学術研究チームに依頼し調査を実施します。当初4月から調査を開始予定でしたが、コ

ロナ禍のため10月開始と6か月遅れてのスタートとなっております。現在は来訪者アンケート、交通量調査を実施しております。以上です。

○委員長(福田 嗣久) 但東振興局。

○但東振興局地域振興課参事(小川 一昭) 資料59ページをご覧ください。但東振興局の取組についてご説明いたします。

現況と課題、基本方針につきましては変わりはございませんので、省略させていただきます。

概要と進捗状況をまとめてご説明いたします。

まず、1番目の但東地域活性化支援事業でございます。但東地域の認知度を向上させるため、これまでから空き家対策に取り組んでいた資母地区コミュニティ組織に対し、各種SNSを活用した住まいや生活など田舎暮らしの情報発信、空き家活用等の支援を行っております。

2番目は地域と協働による空き家活用促進でございます。移住者を対象とした空き家の活用について、但東地域においては現在31戸、内訳は空き家23戸、お試し住宅2戸、移住促進住宅6戸を市のホームページ「飛んでるローカル豊岡」で情報発信し、移住の促進を図っているところです。引き続き集落、コミュニティ等との協働による空き家の活用促進を進めてまいります。

60ページをご覧ください。3番目の移住促進住宅運営事業は、2020年10月より市営特定公共賃貸住宅赤野住宅を移住促進住宅として用途変更いたしました。中山向町移住促進住宅の1戸を含め、市広報紙、市ホームページ等により入居者の募集を行ってまいります。

4番目の教育民泊推進事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で神戸市の中学生の受入れは全てキャンセルとなりました。現時点では、来年度の実施に向け神戸市の中学校と調整しているところです。

説明は以上でございます。

○委員長(福田 嗣久) 続きまして、上下水道部の説明をお願いいたします。

谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 61ページをご覧ください。
私からは、水道施設の整備について説明いたします。

中段以降の概要及び進捗状況をご覧ください。7つの事業について説明させていただきます。

1は城崎、港給水区における安定した水道水の確保のため国県の事業に併せ送水管を布設するもので、今年度は700メートルを予定しておりましたが、国県事業の関係で見送りとなりました。

2は県が実施する城崎大橋架け替え事業に伴い配水管を布設するもので、今年度は新橋の取り合いとなる県道改良部の移設工事400メートルを予定しておりましたが、県事業の関係で現在施工区間の調整中で、発注には至っておりません。調整ができ次第、必要区間の発注を行う予定としております。

3は県が実施する県道豊岡インター線道路改良工事により豊岡病院への現道の付け替えが行われるため水道管の移設工事360メートルを予定しておりましたが、県事業の調整により今年度の事業は見送りとなりました。

4は老朽化した受水池、配水池の耐震化のため改築を行うもので、今年度は配水池の敷地造成と進入路の整備工事を予定しておりましたが、予定地に保安林が含まれることが分かったため今年度の工事を見送り、保安林解除のための用地測量業務と保安林解除申請業務を行っているところでございます。

5は老朽化した浄水池の耐震化のため改築を行うもので、浄水池の改築工事を現在行っております。場内配管工事を設計完了としており、間もなく発注する予定としております。

6は老朽化の耐用年数による更新を計画的に行うものです。現在完了6件、施工中が6件、設計完了2件、設計中4件となっております。

7は、浄水場等の老朽化した電気設備及び監視のための通報装置の更新などを行うものです。現在完了1件、施工中5件、設計中3件の状態となっております。

水道施設の整備については以上でございます。

○委員長（福田 嗣久） 和田参事どうぞ。

○水道課参事（和田 哲也） 63ページをご覧ください。水道料金改定の検討についてご説明いたします。

中ほどの概要をご覧ください。当初の予定では、来年度から2025年度までの5年間に係る料金について今年度に改定の検討を進めるとしていましたが、下の進捗状況に記載していますとおり新型コロナウイルス感染症の影響によりその検討を1年程度先送りしています。

説明は以上でございます。

○委員長（福田 嗣久） それでは下水道課、石津課長。

○下水道課長（石津 隆） 下水道課からは、まず64ページの汚水整備事業についてご説明をいたします。

現況と課題です。汚水整備事業につきましては、普及率は99%に達しています。今後は施設の適切な維持管理と処理区の統廃合及び長寿命化を含めた改築、更新を計画的に実施し、効率化を推進する必要があります。

2020年度の事業概要及び進捗状況ですが、66ページに予定箇所図を添付させていただいておりますのでご覧ください。

まず、一つとしまして統廃合事業ですが、予定箇所図の青色の囲いになります。1つ目としまして統廃合に向けた基本詳細設計を当初3地区で実施する計画としておりましたが、優先順位の見直しに伴い、上野桐野処理区を加えた4処理区で実施しております。各処理区での進捗状況は記載のとおりでございます。

2つ目の統廃合工事は当初7処理区での工事を予定しておりましたが、優先順位の見直しに伴い6処理区で事業を実施しております。各処理区の進捗状況は記載のとおりでございます。

なお、1、2の事業費の合計額は約6億円を予定しております。

次に、大見出し2番の長寿命化及び改築事業ですが、予定箇所図の赤色囲いになります。図面番号の1番から8番は公共、特環、農集、漁集における各

施設の計画策定、実施設計、対策工事でございます。各事業の工事の進捗率は記載のとおりでございます。長寿命化の事業費の合計は約13億円を予定しております。

なお、2020年度の事業のうち約3割程度の工事が繰越しとなる見込みでございますが、この要因としましては桃島雨水ポンプ場につきましては非出水期の工事ということで制約があり繰越しとなります。また、処理場の長寿命化工事では更新する機器の製作期間を要するものがありまして、繰越しとなる工事が数件あります。今後も事業の遅延等生じないように、計画的な工事発注と進捗管理に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、67ページの下水道使用料改定の検討についてご説明をいたします。

中ほどの概要です。これまでの経営状況を踏まえ、資本費平準化債の活用など今後の見通しを十分に精査した上で長期財政計画の見直しを行うとともに、使用料改定の必要性について検討を行います。

進捗状況でございますが、水道事業と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により検討を1年程度先送りすることといたしております。

下水道課からは以上でございます。

○委員長（福田 嗣久） 続きまして、農業委員会の丸谷事務局長。

○農業委員会事務局長（丸谷 祐二） 資料68ページをご覧ください。農業委員会におきましては、主に農業委員会法第6条に規定する事務を所掌しております。

概要につきましては、資料のとおりでございます。資料に基づきまして、それぞれの進捗状況についてご説明をいたします。

1点目は、農地法に基づく許認可事務でございます。毎月1回農業委員会の総会を開催し、農地法等に基づく農地の権利設定の許可や転用等に係る意見書の進達等を実施しております。なお、本年度10月末現在での申請許可等の件数は表にございますとおり、表は上段は年度になりますけれども、おおむね前年度並みのペースとなっております。

2点目は遊休農地の発生防止・解消でございます。農業委員、農地利用最適化推進委員の活動を円滑に進めるために、おおむね旧市町ごとに部会を構成しまして、日頃から地域内の農地のパトロール、遊休農地の予備軍と言えるような農地と担い手の農家とをつなぐ世話役活動を実施しております。7月から8月にかけては、事務局も農業委員、推進委員さんと一緒になりまして遊休農地パトロールを実施し、このパトロールの結果を受けた利用意向調査及び非農地の判断を今後実施することとしております。農地の所有者の方に対する利用意向調査は、ちょうど先週、11月13日に郵送とかあと委員さんへの言づけさせていただいて各農家に回っていただくようなことで発送し、12月2日までにご回答いただくようなことにしております。その後、それぞれの意向を集約した上で非農地の判断という流れになってまいります。

3点目は担い手への農地利用の集積・集約化及び新規参入の促進です。6月に農業委員会で農地等の利用の最適化の推進に関する指針を策定しております。これに基づきまして、担い手への農地の集積、新規参入の促進のための活動を現在実施しております。具体的には担い手農家への農地のあつせんを進めたり、市の農業スクールの修了生が新規就農を市内でされるに当たりまして、実際に耕作される農地の確保のために地元とスクールの修了生との間で推進委員さんを中心に調整を図っていただくといったことを進めております。

4点目は農地利用最適化推進委員の活動についてでございます。推進委員さんにつきましては、おおむね小学校区単位に委員さんを配置しております。農業委員さんにも併せて担当地区を設定をし、連携して対応する体制を構築しております。農業委員さんと一緒に活動に行ったことで、地域に密着した課題への対応や情報の共有、農地の利用調整といった活動の円滑化を進めているところでございます。

なお、今年度は委員の改選後1年次ということで、旧市町単位で開催されています春の農会長会議に

委員さんにご出席をいただいて、業務内容とか相談窓口としてのPRというのを計画しておりましたが、残念ながらコロナの影響で農会長会議の開催が中止されたこともありまして、出席してPRをすることができなかったということを反省しております。今後、冬場の農閑期を有効に利用しまして、委員さんの活動に必要な知識や情報の習得の機会、主に研修というのを進めていくこととしております。農業委員会からは以上です。

○委員長(福田 嗣久) ありがとうございます。
事務概要の説明は終了いたしました。

委員の皆さん、それぞれ質問がございましたらお受けいたします。

○委員長(福田 嗣久) 椿野委員どうぞ。

○委員(椿野 仁司) 1つだけ。上下水道の料金改定のことなんですけども、このスケジュールが1年程度先送りするということになってるんですけども、これでいくと例えば1年先送りするとなると、このスケジュールは「(以下、改定する場合)」と書いてあるところの議会の全員協議会からの内容だけでも、そうするとこれ2021年の10月ということが大体基本とするということに考えているのか。もしもそれを考えているとするならば、やはり一括で全員協議会じゃなくて、これちょっと大変なことだと思うので、コロナの関係でいくと、いわゆる他の市町村が結構やっぱりこの上水道料金に関しては減免したりだとかいろんなことしてるでしょ。だから豊岡市はここで改定をするということに対しては、かなり市民に対して非常にデリケートな部分だと思いますから、スケジュールはスケジュールとして、基本的にはできればやっぱりちゃんとこの事前の議会説明も含めて、アイティの問題じゃないんだけど、やっぱりこれは両方とも料金改定するということも考えているならば、早くから一応議会側としっかりと議論を重ねていく必要があるというふうに思ってますがいかがですか。

○委員長(福田 嗣久) 和田参事。代表して。

○水道課参事(和田 哲也) 委員のご指摘のとおり1年程度先延ばしということにしましたので、こち

らに示している予定どおりにいくかどうかというのはまだこれからのスケジュールを決めていくということになるかと思いますが、ご指摘のとおり丁寧に市民の皆様や議員の皆様には説明をさせていただこうと考えています。以上でございます。

○委員長(福田 嗣久) どうぞ、椿野委員。

○委員(椿野 仁司) 何も決定してなくてもいいんで、やっぱり財政的な問題もかなり含みがあるので、やっぱりそういう意味では早くから一応これは本来スケジュールにのっとってやろうとしてた内容も含めていくと、大体事務方いろいろといろんなこと考えてると思うので、あなたたちは、だからその辺はきちっとそれはやっぱり我々に対していろいろと説明もし協議を重ねていってほしいんです。なぜかというと、秋では困るんだ。もう今期で一応4年たつんで、来期はもう新しい議員さん、議会になるので、今期やろうとするならばそれはやっぱり今期のうちにきちっと責任が取れるように我々もやっていかなきゃいけないとは思ってますから、ぜひともそれをよろしくお願いします。以上です。もういいです。

○委員長(福田 嗣久) ほかの委員は。
村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 今の件なんですけど、これまで上水道については値上げの検討に入ると。コロナで1年遅れるよという話までは聞いたんですが、下水道について料金改定というのを今日初めて聞くような気がするんですが、私の認識違いですか。

○委員長(福田 嗣久) 石津課長。

○下水道課長(石津 隆) この事務概要は4月のときにもご説明をしております。下水道の関係も公営企業審議会平成28年に料金改定の検討をいただいたときに、5年経過したときにさらに検討といいますか、もう一度もむようにという答申も受けておりますので、それとリンクさせて今年度検討しようとしているものでございます。以上です。

○委員長(福田 嗣久) 村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 私の認識違いだったんでしょう。それにしても、上水道、下水道が一遍に上がる

なんていうことは市民の側から見たらこれはとっても大変なことなので、その辺のところはきちっとした検討を加えてほしいなとこれはお願いしておきます。

○委員長（福田 嗣久） よろしいか。

ちょっと私から。この6月から9月にかけての公営企業審議会は21年になるんでしょうけれども、この予定で進められるんですか。

どうぞ。公営企業審議会。

○水道課参事（和田 哲也） こちらの公営企業審議会につきましては、新しい委員さんが今年の6月から2年間の任期で就任いただいています。コロナウイルスの関係で今まで開催できませんでしたが、あさって第1回目を開催する予定です。

内容につきましては、今の現状ですとかその辺りの説明になろうかと思えますけども、実際の料金改定の検討に向かうということになると、これは来年の6月ではなくて、もう少し早い時期に審議いただくことになろうかと考えております。以上です。

○委員長（福田 嗣久） 分かりました。

ほか、委員さんよろしいか。

はい。

○委員（椿野 仁司） 今の考え方で、公営企業審議会のメンバーいったら誰だったっけ。分かってる、また資料請求。

○委員長（福田 嗣久） 資料でまた頂きたいと思います。

副委員長さんはよろしいか。

○委員（清水 寛） はい。

○委員長（福田 嗣久） ほかの委員さんはよろしいですか。

足田さん、よろしいか。

○委員（足田 仁司） はい。

○委員長（福田 嗣久） それでは、質問が途切れましたのでこれにて終了させていただきたいと思います。

ほかにはないようですので、事務概要についてはこの程度でとどめておきたいと思います。

この際、当局の皆さんから特にご発言はございま

せんか。よろしいですね。

ないようでしたら、当局の皆さんは退席をさせていただいて結構です。大変ご苦労さまでした。

それでは続いて委員会の運営方針についてお諮りをいたします。

ご参考までに別紙1として前期の委員会重点調査事項を配付しておりますが、改めて今期の委員会重点調査事項について協議をお願いいたします。

前期までの重点調査事項を申し上げますと、環境経済戦略の推進、農林水産業・商工・観光・特産振興等経済支援、地域活性化施策の推進、有害鳥獣対策の推進、地域内幹線道路の整備促進、都市計画マスタープラン、公営住宅の在り方、下水道事業計画及び地域水道ビジョンの推進、専門職大学と演劇のまち、新型コロナウイルスに係る地域経済対策、以上のございましたけれども、このようによろしいか。委員の皆さん、よろしいか。（「いいです」と呼ぶ者あり）

○委員（村岡 峰男） これ、新型コロナはいつ加えたの。

○委員長（福田 嗣久） さあ、それはちょっと……。

○委員（村岡 峰男） まさか去年の9月に書いてへんな。

○委員（椿野 仁司） 前回変わっとな。

○委員長（福田 嗣久） いや、4月から変わったんちゃう。

○委員（椿野 仁司） 4月から変わっとなはただけど。

○委員長（福田 嗣久） そうでしょうな。

ならこのとおりでよろしいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それじゃこのようにさせていただきたいと思います。重点調査事項は現行のとおりといたします。ご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福田 嗣久） それじゃ続いて各種委員の選出についてお諮りしたいと思いますけれども、各種委員の選出についてですが、別紙2でございます。条例等によりまして、委員長が充て職としては豊岡

市農業振興審議会の委員、それから災害対策本部出席者、豊岡市表彰審査委員会、この3委員会は委員長の充て職となっておるようでございますので、これについては私がさせていただくということになります。

それから、あと一つは都市計画審議会委員を3名ですか、これを3人ちょっと選考いただきたいと思えますけれども。（「立候補で」と呼ぶ者あり）

木谷委員、岡本委員、村岡委員。よろしいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員（木谷 敏勝） これ開催予定あるんか。都計審、みんな終わってしまつとるんちゃうんかな。

○委員長（福田 嗣久） 書いてあるんで諮らせてもらいますわ。（発言する者あり）いや、またありましょうで。

それじゃ都市計画審議会委員につきましては木谷委員、岡本委員、村岡委員、この3人に決定をさせていただきます。

続いては委員会の席次についてお諮りをいたします。

委員会の席次は、今座っていただいておりますけれども、このようでよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福田 嗣久） ではこのとおりとさせていただきます。

5番目、最後にその他ですが、この際何か委員の皆様から申出がございましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福田 嗣久） なしですか。よろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（福田 嗣久） それじゃこれにて本日の建設経済委員会、事務概要の説明を終了いたしたいと思います。大変長時間、ご苦労さまでございました。

午前11時58分閉会
